

平戸市 議会だより



せせらぎの中にたたずむ憩いの場

紙漣の里ふれあい施設の園田さんと利用者皆さん

イベント情報

- 5月10日(日) 午後1時～ 糸かけアートワークショップ
- 5月16日(土) 蜜蝋ラップと手作りハーブソルトワークショップ
- 6月6日(土) ほたる祭り

※詳しくは、紙漣の里公式Instagramをご覧ください(16ページ参照)

Vol.93

令和8年(2026年)5月1日発行

もくじ—INDEX—

- 2月臨時会
- 3月定例会
- 2～8 今議会ここに注目! 常任委員会レポート
議会改革特別委員会設置
- 9 審議された案件と結果
- 10～15 一般質問
- 16 平戸の子カラ



平戸市議会ホームページ



バックナンバー

平戸市議会だより～とかいせん～ Vol.93 2026.5

編集・発行:平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170

FAX22-3427

E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、ご紹介します。



紙漣の里ふれあい施設 清流にたたずむ憩いの場で 肌で感じる里山の四季



沢のぼり



餅つき体験



竹とうろう作り

※引用元: 紙漣の里ふれあい施設公式Instagram



紙漣の里ふれあい施設
指定管理者 **園田 孝** さん

公式
Instagram▶



紙漣の里ふれあい施設(以下「紙漣の里」)では、市内外の家族連れや子ども会などの皆さんが、さまざまな体験を通して自然に親しんでいる。今回、管理者の園田孝さんに話を伺った。

ふるさとの里山を活かしたい
高校卒業後、長年東京で暮らし、園田さん。「平戸は歴史・自然・文化など、さまざまな『すごい』が凝縮したまち。日本中探しても、こんな場所は珍しい。都会の皆さま

んにも知ってもらいたい」と、平戸へ帰郷し民宿を始めた。
令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大で、紙漣の里も利用者が激減。園田さんは「子どもに遊ばせたい」と、指定管理者に名乗りを上げた。

せせらぎの中で四季折々の体験を

紙漣の里は、安満岳の麓、神曾根川のほとりに位置し、涼しげな清流と里山風景の中で四季折々の自然・文化を体験できる施設。

園田さんが指定管理者になってからは、沢のぼり、そうめん流しのほか、紙漣き、しいたけ菌打ち・収穫など新たに体験メニューを増やしている。「今年、施設自慢の水車のそばにヤマメの稚魚を放流し、将来は釣りができるようにする。ここで平戸の自然を存分に体験してほしいです」と語った。

編集後記

吹き抜ける風が心地よく感じる今日このごろ、5月の爽やかな気候の中、平戸市でもさまざまなイベントが開催されます。豊かな自然にも恵まれ、多くの観光客も訪れています。市民の皆様も、素晴らしい自然を再度見直し、満喫してください。

今回掲載しております2月臨時会では物価高騰対策を、3月定例会では新年度予算を審議しました。どちらも生活に関する重要な案件です。

議会だよりには、皆さんに知っていただきたい情報を載せています。広報ひらりと併せて読んでいただき、市政についてより詳しくご理解いただきたいと思います。

(岡 康則)

広報特別委員会

委員長	池田 稔巳
副委員長	岡 康則
委員	井元 宏三
委員	岡村 文雄
委員	竹山 俊郎
委員	針尾 直美
委員	山内信太郎

平戸市議会 検索 ▶ 市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。

